

モモの育て方

モモ・・・バラ科 原産地:中国

■年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育サイクル			萌芽開花				花芽分化				落葉	
植えつけ												
剪定												
肥料												

桃色の花を咲かせる桃は、春の訪れをつげる庭木として楽しめます。果実は、果汁が多く、糖度も高いです。黄肉種にはビタミンAとCを多く含んでいます。

品種	成熟期	果重	糖度	特徴	受粉樹
白桃	8月中旬～8月下旬 晩生種	250～300g	13～14度	食味は非常に良いが、花粉量が少ないので授粉樹を必要とします	大久保 その他
白鳳	7月中旬～7月下旬 中生種	150～200g	11～12度	花粉が多く生理落花が少ないです	
大玉白鳳	8月中旬 晩生種	200～250g	12～13度	玉揃いが良く、果肉は乳白色の地色で鮮紅色で甘味が強いです	
大久保	7月下旬～8月中旬 中生種	200～250g	12～13度	肉質が良く、日保ちが良いです	

※上記以外に桃の品種は多く、暖地では中生や晩生の品種が良いでしょう。※皮に毛のないネクタリンも桃の一種ですので、桃と同様の方法で栽培できます。

モモの育て方

■栽培条件

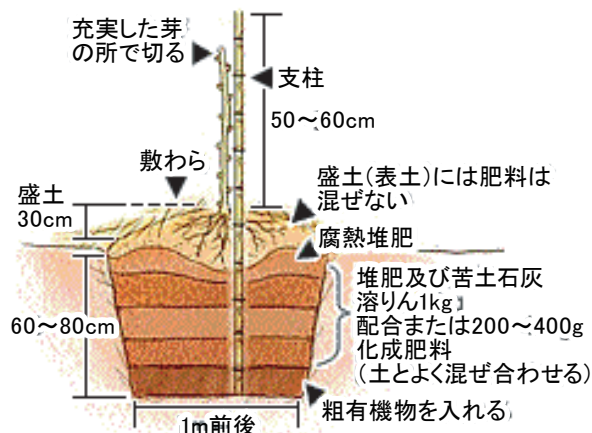
休眠期であれば-15～-20度に耐える事ができますが、開花期に寒さの厳しい地方では栽培が困難です。夏の成熟期に日照量が多く、雨が少なく、昼と夜の温度差がある地域が適地です。

■植え付け

植え付けは寒冷地には、春先に行ない、暖地では晩秋に行なうとよいでしょう。

■受粉

多くの品種は自家結実性ですが、白桃の近縁種に花粉がほとんどないため、1本では実が付きません。そのような品種を植える時、花粉の多い品種と一緒に植えます。確実に受粉するには、人工受粉が適しています。



管理方法

■剪枝・剪定

桃は古い株からは、新芽が発生しにくく、1～2年の枝に新芽が発生するので、強剪定を行わず、1～2年の枝を残すようにします。



■肥料

1～2月に根の回りに溝を掘って配合肥料を施肥します。

■摘果

葉15枚前後に対して果実を1個を目安とします。なお30cm位の枝で1個、60cm位の枝で2～3個残します。また、残す果実は病害虫の被害を受けていない、枝先に新梢が伸びて葉のある枝の果実を残します。

